

西洋が

魅せられた

江戸の粋

チコチンの浮世絵

新収蔵品展

開館一周年記念



平成9年9月20日(土)～10月19日(日)

開館時間 9時～16時30分 (入館は16時まで)

休館日 毎週月曜日

観覧料 一般730円(620円) 学生510円(410円) ()内は団体20名以上の料金

主催 山口県立萩美術館・浦上記念館 NHK山口放送局 朝日新聞社

後援 YAH!山口朝日放送

開館一周年記念 国際シンポジウム「浮世絵—東西の架け橋」

平成9年10月4日(土)、5日(日) 萩市民館・大ホール

高階秀爾(国立西洋美術館長・東京大学名誉教授)、諏訪春雄(学習院大学文学部教授)、ティモシー・クラーク(大英博物館日本部副部長)、ヘンリー・スミス(コロンビア大学歴史学教授)、小林忠(学習院大学文学部教授)の5氏による記念講演会とシンポジウムを行ない、18、19世紀における美術の受容と表現について、国際的な視点から浮世絵の美の本質やヨーロッパ美術に及ぼした影響をあきらかにします。



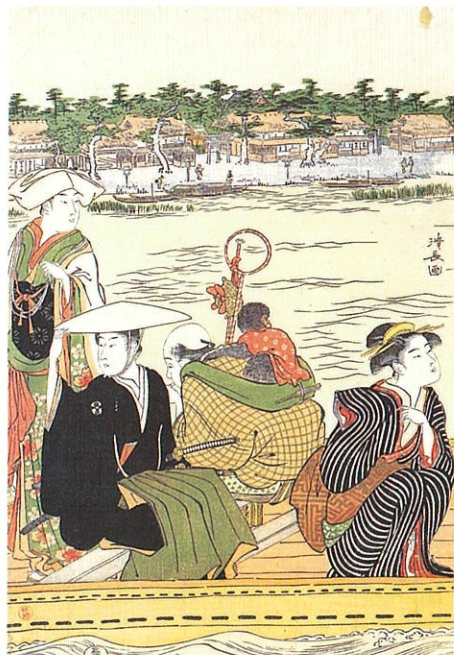
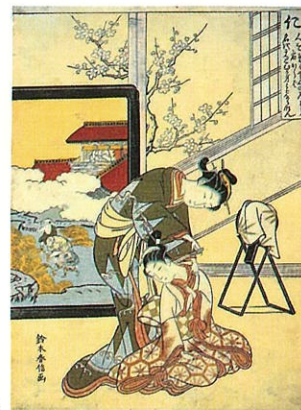
山口県立萩美術館・浦上記念館
HAGI URAGAMI MUSEUM

〒758 山口県萩市平安古586-1 TEL.0838-24-2400 FAX 0838-24-2401

TIKOTIN COLLECTION

チコチンの浮世絵 新収蔵品展

開館一周年記念



チコチン・コレクションは日本美術の研究家でありコレクターでもありました故フェリックス・チコチン氏が収集した浮世絵版画の一大コレクションです。昭和47年（1972）に本館の浦上敏朗名誉館長の鑑定評価のもと日本に買い戻され長らく民間の所有となっていたのを、このたび山口県が一括購入し、本館所蔵となりました。

このコレクションには、菱川師宣に始まる墨摺絵、紅絵、漆絵、紅摺絵の初期浮世絵の作品から、鈴木春信、鳥居清長、喜多川歌麿、東洲斎写楽、葛飾北斎、歌川広重の六大浮世絵師を中心とする、錦絵創始期から黄金時代にいたる美人画や役者絵の作品、そして後期浮世絵時代の代表的なテーマとなった風景画などが揃い、二百年にわたって発展した浮世絵版画の歴史を通観できます。

今展覧会では、コレクションの特長を活かし、初期浮世絵の時代、錦絵の誕生、役者似顔絵の展開、浮世絵の黄金時代、後期浮世絵の時代、北斎と広重の6つのコーナーに分けて、184点を展示します。昭和53年（1978）に初めて日本で公開されて以来19年ぶりの展覧となり、かつてチコチン氏が愛蔵し、いまなお欧米人を魅了してやまない浮世絵版画の美の世界を堪能されるまたとない機会です。



- 1 菱川師宣 よしはらの躰 高嶋前
- 2 石川豊信 炬燵の上で文を読む 中村喜代三郎
- 3 鈴木春信 五常 仁
- 4 鳥居清長 隅田川渡し船
- 5 喜多川歌麿 扇屋内花扇 よしの たつた
- 6 葛飾北斎 富嶽三十六景 凱風快晴
- 7 歌川広重 浪花名所図会 今宮十日ゑひす



交通アクセス
 ● JR東萩駅：タクシー5分／徒歩20分
 ● JR小郡駅：バス70分
 （萩バスセンター下車、徒歩10分）
 ● 石見空港（島根県益田市）：バス75分
 （萩バスセンター終点、徒歩10分）
 ● 中国自動車道：小郡 I.C.、各50分
 美祿 I.C.、各50分

お問い合わせは
 山口県立萩美術館・浦上記念館
 〒758 山口県萩市平安古 586-1
 TEL 0838-24-2400(代)



■ 次回予告 「-中国中原に華ひらいた名窯-耀州窯」展
 10月25日～12月21日